

ガーナからの手紙

2019年4月9日

青年海外協力隊 2018年度2次隊
市川 将志 (いちかわ まさし)

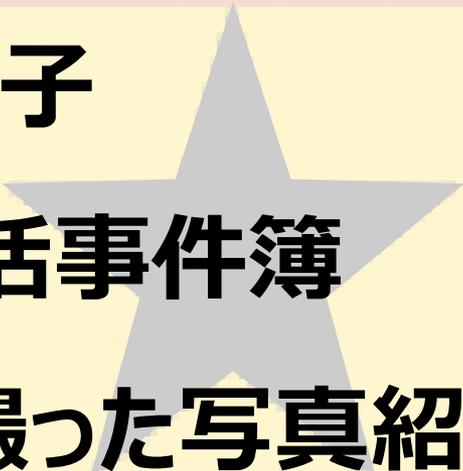
あいさつ

佐久市のみなさん、こんにちは。
現在青年海外協力隊として、西アフリカのガーナにある教員養成校でPCインストラクターとして活動している市川将志です。

日本を離れガーナに来てから半年が経ちました。
活動が本格的に始まり、暑さと長期断水で厳しい環境の中でも充実した日々を送っています。
ただ、食事は日本食が恋しくなることがあります。

今回はガーナからの手紙では、最近のガーナや活動の様子、
2019年1月以降の出来事、感じたことを紹介します。

目次

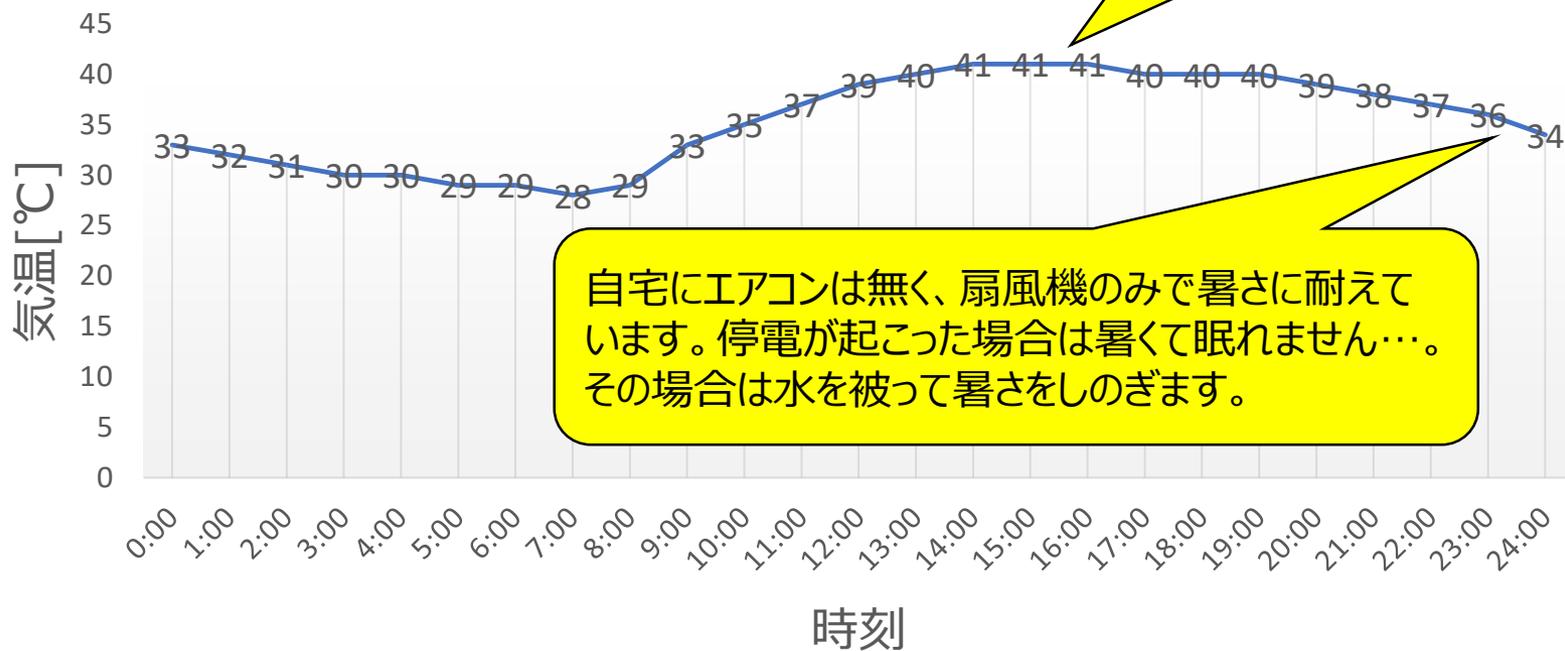
1. 最近のタマレの様子
 2. 活動の様子
 3. ガーナ生活事件簿
 4. タマレで撮った写真紹介
- 

最近のタマレの様子

ガーナでは10月から4月まで乾季です。ガーナからの手紙20190104号に書いたハマターンは2月には終わり、3月から**気温が急上昇**しています。近頃では**最高気温は41℃**、**最低気温は28℃**くらいで、今が暑さのピークの様です。

計測した温度は41℃でも体感温度は45℃を超えます。

ある一日の気温推移



自宅にエアコンは無く、扇風機のみで暑さに耐えています。停電が起こった場合は暑くて眠れません…。その場合は水を被って暑さをしのぎます。

活動の様子(1)



配属先：バガバガ教員養成校

タマレにある**将来学校の先生になりたい学生が通う学校**です。日本でいうと大学の教育学部に相当します。

生徒数：約1500人

教員数：約70人

学年：3学年



活動内容：

活動内容は1年生、2年生の学生に**パソコン**（主にマイクロソフトのWord、Excel）の**使い方を教えること**です。ガーナでは小学校からパソコンの授業が必修科目となっていて、将来先生になって生徒にパソコンの使い方を教えるために、この学校で学びます。

活動の様子(2)



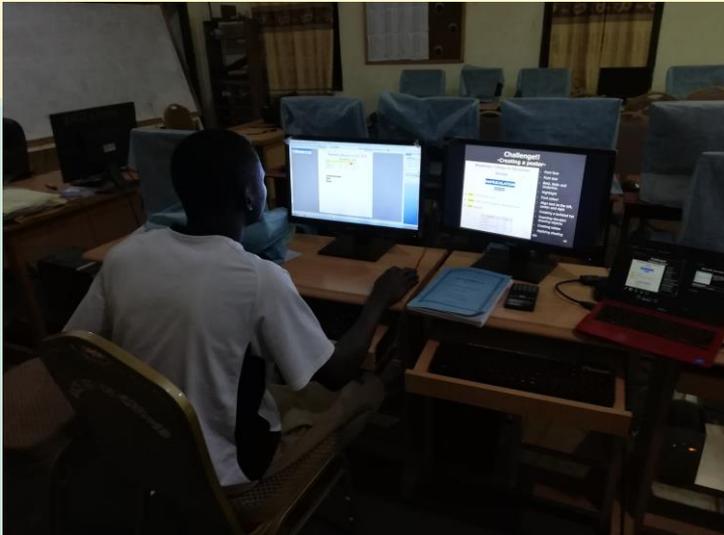
「ガーナからの手紙20190104号」で書いた通り、教員のストライキによって授業ができませんでしたが、ようやく2月から本格的に活動を開始しました。

【写真1枚目】

自分が担当しているパソコンの授業の様子です。この時はマイクロソフトのWordの使い方を学ぶ授業で、学生はポスターを作る課題に取り組んでいます。今回の授業で初めてパソコンを使う生徒が多く授業開始当初は苦戦していましたが、回を重ねる毎に徐々に使い方を理解して成長しています。

【写真2枚目】

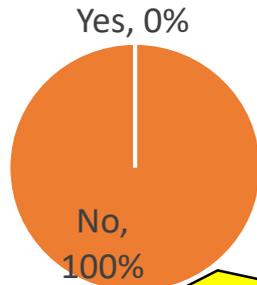
熱心な学生にはマンツーマンで教えることもあります。



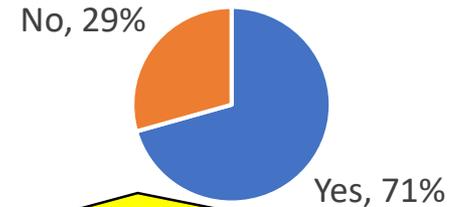
活動の様子(3)

自分の授業の中でガーナの大学生にアンケートを取った結果を一部紹介します。パソコンやスマートフォンの所有率、利用傾向を調べて今後の授業に役立てています。

あなたはPCを持っていますか？

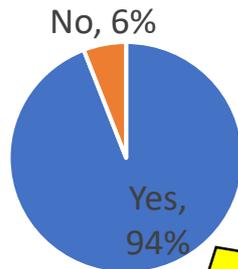


あなたは今までPCを使ったことはありましたか？

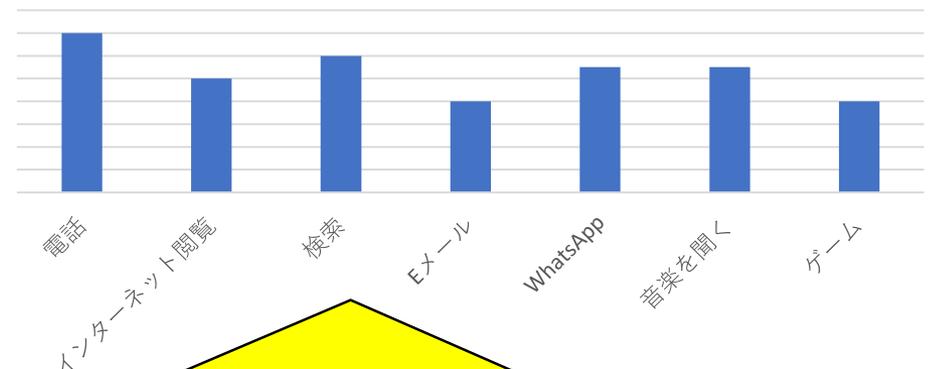


パソコンの普及率は低く、使う場合はインターネットカフェでWord,Excelの資料を作ることが多いです。

あなたはスマートフォンを持っていますか？



あなたはスマートフォンを使って何をしていますか？



スマートフォンの普及率は高く、若い人達の利用方法は日本とよく似ています。

活動の様子(4)

自分の配属先以外の学校でも活動しています。

他の教員養成校でのワークショップの様子。自分の配属先を含めて教員養成校の学生は真面目で学ぶ意識が高いです。



隣の村にある小学校での図工（絵、粘土）の授業の様子。普段の図工の授業では実際に物を作ることは少ないようで、授業は大盛り上がりでした。



ガーナ生活事件簿①

ガーナ大統領を間近で見る

3月6日は独立記念日でガーナでは祝日です。19世紀後半からイギリスの植民地でしたが、1957年3月6日に独立してガーナ人には特別な一日です。

例年は独立記念日のセレモニーが首都アクラで開催されていますが、今年は62回目にして初めてアクラ以外での開催となり、私が住んでいるタマレで開催されることになりました。開催場所は自宅から約2kmの所にあるスタジアムで、朝6時から行って来ました。セレモニーは炎天下で6時間以上続きましたが、会場は割れんばかりの大歓声でガーナ人には特別な日であることを実感しました。



白い服の方がガーナ大統領。



独立記念日には恒例となっている祝典マーチング。スタジアムは超満員で中に入れない人達も多数。

暑さのためフィールドにいる人が20人以上倒れるハプニングもありつつ、セレモニーは進む…

ガーナ生活事件簿②

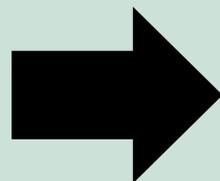
州が10⇒16に分割される

ガーナには地方行政区分として10州(※)ありましたが、2019年2月15日に16州に分割されました。分割されることは2018年12月27日の国民投票により決まっています、それが実行されたことによります。

私が住んでいるノーザン州はノーザン州、サバンナ州、ノースイースト州の3州に分割され、家の住所は変わらずノーザン州のままです。

個人的には州の分割による影響は今のところ何も感じていません

※州とは日本の都道府県のようなもの



ガーナ生活事件簿③

シアバター作りを体験する

化粧品にも使われるシアバターはガーナ北部の名産品です。同僚の隊員が住む村ではシアバターを作っていて、シアバター作りを体験させてもらいました。北部は非常に乾燥しているので私も普段から乾燥防止のためにシアバターを使っています。

シアバター生成工程

- ①実を洗って乾かす
 - ②機械に入れて実を細かくする
 - ③専用の容器に入れて焙煎する
 - ④専用の機械でペースト状にする
 - ⑤水と練る
 - ⑥乳化したら油分のみを鍋に移す
 - ⑦火にかけて不純物を取り除く
 - ⑧別の窯に入れて再度煮詰める
 - ⑨冷まして完成
- ※青字は今回体験した工程



⑤水と練る



⑥乳化したら油分のみを鍋に移す



⑦火にかけて不純物を取り除く

ガーナ生活事件簿④

国内旅行に行く

配属先の休暇を利用して2019年1月にブルキナ・ファソとの国境がある**アッパーイースト州**、3月には野生動物に会える**モレ国立公園**に行ってきました。

1月：アッパーイースト州



地元の博物館を見学。



土産は民族衣装が多い。



北部の子供たちは大人しい。

3月：モレ国立公園



夕日が綺麗。



野生の象の見学ツアー。



オランウータンや猿がそこら中に。

ガーナ生活事件簿⑤

ゴミ／トイレ問題

発展途上国あるあるだと思いますが、ゴミとトイレに関する環境は想像以上に悪いです。街中には汚い場所があり、匂いも酷いです。



ガーナ人は平気でそこら辺にゴミを捨てるため街中はゴミであふれています。ゴミ収集の仕組みが不足していること、街中にゴミ箱が無いことが理由ですが、ガーナ人の昔ながらの習慣だと思います。

政府が掃除をする人を雇って、毎朝その人たちが掃除している姿を見掛けます。一時的に綺麗になりますが、すぐにゴミが捨てられて汚くなります。



街中に公衆トイレは少なく、有料だったり、施錠されて閉まっていたり、あっても左のような簡易的なものです。子供は人通りがある道端で、女性の学生や大人でも人影が少ない茂みで用を足しています。衛生状態は悪いです。近所では一日に何人もそのような人を見掛けます。

自分の家の前で大人の女性が用を足していたのは驚きました

**ここからは最近撮った
写真を紹介**

ガーナの棺桶（かんおけ）

既に日本のテレビで取り上げられていますが、ガーナの棺桶の一部は派手で個性的な事で知られています。亡くなった方の憧れていた物、人生にちなんだ物と共に送り出すのがガーナ流です。（普通の棺桶もあります）



剣（つるぎ）



小麦粉



アリ



カメラ



ケーキ



エビ

タマレの子供たち



ガーナは子供が多く、ガーナ人の平均年齢は20歳前後と低いです（日本人は45歳前後）。半年間写真を取り続けていたらカメラを持った外国人と認識されて来て、最近では近所を歩いていると子供だけではなく大人からも写真を撮ると言われるようになりました。これも現地のガーナ人とのふれあいの一つと考えて楽しんでいきます。

